

地域のイメージアップに一役

国定公園公衆便所施設再整備補助事業 で間瀬高屋地区公衆トイレを改築整備

「あれ／あんな所にレストラン、それとも喫茶店ができたの!」なんて声が聞かれる間瀬高屋地区。実はこの建物、先月完成したレストラン・ホテル白岩前にある公衆トイレ(写真)なのです。

同地区には、以前、昭和四十八年に建築された公衆トイレがありました。海岸部に近いため老朽化が著しく、そのため昭和六十年に一部改修されたものの傷みがひどくそれに施設面でも旧式なため、地区の人たちや観光客などからも改善を要望する声があがっていました。それに、皆さんもご承知のとおり、間瀬高屋地区はシーサイドライン沿いにあり、新潟県夕日ラインの景観地として指定され間瀬地区の観光拠点として年々観光客も増えていきます。このような状況から、老朽化した既設トイレを改築し、地域の環境美化に努めるとともに、同地区のイメージアップを図るため今回「国定公園公衆便所施設再整備補助事業」の採択を受け改築工事が行われました。

改築工事は、昨年九月八日(着手)〜十二月三十一日(竣工)の一〇五日間、工事費約三千七百三十三万円(本体工事、植栽工事)をかけて行われ、



▲老朽化した既設を改築整備し、地域のイメージアップと利用者ニーズに対応できる施設へと変身した間瀬高屋地区公衆トイレ。

みんなが利用 する公衆便所 マナーは守って



■7年前から同地区の公衆トイレを管理する 幸田妙子さん(間瀬7区)

この公衆便所は、地区の人たちや観光客が多く利用します。特に夏場はすごいです。それに落書きやいたずらなんかも多くて困っています。今回完成したトイレは設備も良く、それになんといっても外観がきれいで、地域のイメージアップにもなりますね。これを機会に、利用者からマナーを守ってもらい、いつまでも快適な施設にしていきたいですね。

その他に村単独事業として約百三十万円を投じ、周辺の環境整備も行われました。

今回改築された公衆トイレは、従前の公衆トイレのイメージを一新するため入口壁面を曲線化し、採光部をガラススタイルに、そして色彩はアイボリー系に統一。また女性トイレの防犯上の点を考慮しオープンスタイルを採用、それに身障者用トイレの設置など利用者ニーズに十分応えられる施設となりました。

同施設の完成により、地区民をはじめ関係者から、周辺環境美化の向上と観光客へのサービス向上につながるものと期待が寄せられています。

ところで、皆さんも公衆トイレをご利用になるとき汚ないといやですね。せっかく新しくきれいになった施設も、利用者の心がけ次第によつてすぐに汚れたり故障したりします。そんなことにならないように、皆さんも公共施設などを利用するときは正しいマナーでご利用ください。

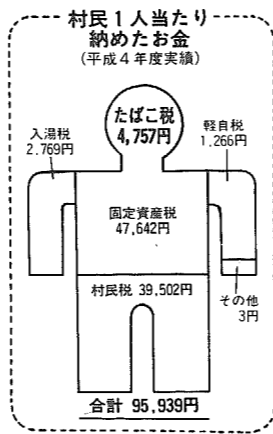
岩室村財政状況

岩室村では、村民の皆さんから納めていただいた税金や国・県から交付される収入で、明るく活力にみちた住みよい村づくりに努めています。そこで、このコーナーでは平成4年度の決算(平成4年4月〜5年3月)が、昨年の12月定例村議会で審議され認定されましたのでお知らせします。

なお、決算などという数字ばかりで読みにくいかもしれませんが、これは皆さんの暮らしに直接かかわった村の家計簿の総集計ですので、ぜひご覧ください。

■平成4年度一般会計決算

歳入総額 32億6,645万円
歳出総額 31億2,311万円



■特別会計



平成4年度決算額 わがむらの家計簿です このように使いました



平成4年度の当初予算は、三十億九千万円でスタートしましたが、その後いろいろな行政需要にこたえるため補正され、最終の決算では、歳入が三十二億六千六百四十五万円、歳出が三十一億二千三百一十一万円となり、差引き一億四千三百三十四万円の黒字で、平成4年度も健全な財政運営を進めることができました。

これは、厳しい財政状況の中、歳入の確保、歳出の節減、合理化に努めた成果の表われですが、それになんといつても、村民の皆さま方のご理解とご協力があってこそその結果です。それでは、歳入歳出別の内容(概要)についてご紹介します。

なりました。この主な要因としては、目的基金の取崩しの減少によるものが大きく、また、地方交付税などの依存財源では前年比七・六ポイント上回りましたが、総計では前年に引き続き減収となりました。

歳出面では、歳出総額が三十一億二千三百一十一万円となり、前年度に比べ一億七千九百五十七万円の減となりました。これは、給食センターや和小建設が完了したことによる教育費の大幅減によるもので、その他村民の皆さんが必要とされている分野には積極的に取り組んだ結果、ほとんどの分野で増となりました。こうして平成4年度も、安定した財政運営のため、歳入の確保に努めながら限られた財源の有効活用、経常的経費の抑制などに努めた結果、健全な財政運営を進めることができました。

■一般会計

議会費	8,332万円(2.7%)	12億7,766万円(39.1%)	地方交付税
消防費	1億4,185万円(4.5%)	9億7,522万円(29.9%)	村税
商工費	1億5,173万円(4.9%)	2億1,064万円(6.4%)	県支出金
土木費	1億8,771万円(6.0%)	1億6,251万円(5.0%)	地方債等ほか交付金
衛生費	1億9,403万円(6.2%)	1億4,816万円(4.5%)	諸収入
総務費	2億8,840万円(9.2%)	1億3,070万円(4.0%)	村債
農林水産業費	4億2,000万円(13.5%)	1億2,837万円(3.9%)	繰越金
民生費	4億2,594万円(13.6%)	8,476万円(2.6%)	分担金及負担金
教育費	5億6,003万円(17.9%)	7,457万円(2.3%)	国庫支出金
公債費諸支出金	6億7,010万円(21.5%)	7,386万円(2.3%)	その他

平成4年度の主な事業

- ・農村総合整備モデル事業
- ・村道、林道整備事業
- ・各種検診予防事業
- ・水田農業確立対策事業
- ・ふれあいセンター整備事業
- ・社会福祉事業
- ・観光施設等整備事業
- ・教育施設整備事業
- ・生涯学習推進事業
- ・その他

■特別会計

